

保健体育科 3年

体育理論 文化としてのスポーツの意義

担当 羽田野 直樹

【活動の目標】

スポーツの良さについて調べ、仲間にスポーツを勧めよう。

【 問 い 】

- ・人々は、スポーツにどのような良さを感じているのだろうか。
- ・自分が将来スポーツを行うにあたって、重要視するスポーツの良さはどんなところだろうか。

今回 ICT を活用した場面	従来 of 活動
B2 調査活動 スポーツのもつ良さ（効果など）について、インターネットで調べる。たくさんの情報の中から、自分が伝えたい項目を抜き出す。	書籍等で調べたり、自分の経験を用いたりすることで、良さについてまとめる。
C3 共働作業 発表する項目を1枚のスライドに協力してまとめ、自分たちが調べたことを伝えるために補助する発表スライドを作成する。	紙やホワイトボードなどに記入して、発表補助資料を作成する。
C1 発表や話し合い 作成した補助スライドを教室前方のテレビに映し出すことで、発表内容を伝えやすいようにする。	紙をコピーして配ったり、前に貼ったホワイトボードなどを提示しながら発表を行う。

【資料】

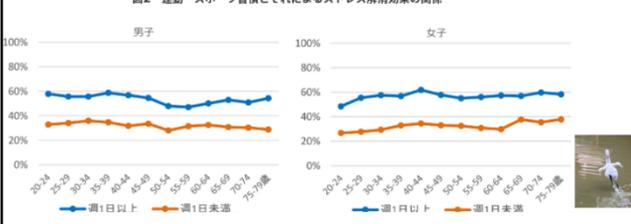
発表スライド

テーマ：体

- ・体力・代謝↑
- ・筋力がつく
- ・痩せる（見た目が良くなる）
- ・生活習慣病予防



図2 運動・スポーツ習慣とそれによるストレス解消効果の関係



ストレス発散・気分転換



【ICT 機器を活用する良さ】

- 班員全員が一斉にインターネットを使用して調べごとをすることによって、欲しい情報が瞬時に手に入る。
- 同時に話し合いながらスライドを作成することで、短時間に発表をイメージしながら提示資料を作成できる。
- 前方のテレビに発表資料を提示することで、発表の内容を分かりやすく、見やすく伝えることができる。

【改善すべき点と原因および改善案】

- ・提示資料を作成することに時間がかかりすぎてしまい、発表内容を正しく伝えるということが二の次になってしまう。
- ⇒発表を分かりやすくするというので、アニメーション等は必要がない限り使用させず、スライドは1枚で作成させるようにした。
- ⇒時間を区切って、スライド作成に使う時間と発表原稿を考える時間に分けた。